

数学

大阪大学[文系] (前期)

<全体分析>

試験時間	90 分	解答問題数	3 題
------	------	-------	-----

解答形式
記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

出題の特徴

整数を題材とした問題が出題された。

その他トピックス

2は理系**2**と共通問題。**3**は理系**4**と同じ数式であった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	式と証明 図形と式 微分法	数学Ⅱ	放物線にひいた 2 本の接線の接点を結んでできる直線について考察する。	標準
2	空間のベクトル	数学B	空間内の同一平面上にない 4 点について考察する。	標準
3	整数 積分法	数学A 数学Ⅱ	定積分で表された等式を満たす 3 つの整数 a, b, c について考察する。	標準

※難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

近年はいろいろな分野から出題されているので、どの分野もまんべんなく学習しておく必要がある (今年度は整数問題が出題された)。

また、1 つの問題にいくつかの分野の内容を織り交ぜて出題されることが多いので、融合問題も演習しておくこと。